

家づくりにママ目線

家づくりに子育てママの視点を——。男性による設計が多い住宅企画の世界だが、母親目線を取り入れ、子育て世帯のニーズに応えようとする傾向が広がっている。家選びで女性の発言力が高まっていることに加え、女性の社会参加が進み子育てを含めた家事全般に使い勝手のいい家が求められていることが背景にあるようだ。他社との違いを打ち出したい企業側の意図もこうした動きを後押しする。

収納を充実／2階に浴室・洗濯室



首都圏メーカー

家事 使い勝手 追求



リビングに段差を設け、その下に収納スペースを確保。子育て中の母親たちの意見を取り入れた（東京都足立区）

埼玉県が地盤の住宅事業会社、ポラスグループの中央グリーン開発（埼玉県越谷市）が手掛ける戸建て分譲地「パレットコート六町 東京ココロシティ」（東京・足立）で、注目を浴びる4棟の物件がある。子育て真っ最中の母親たちが家づくりに参加した「子育てママの理想の家」だ。

敷地面積97平方メートルの2階建ての1階。広々とした40平方メートルのダイニングと居間には50センチほどの段差があり、その下に収納スペースが設けられている。キッチンの後ろや土間にも収納庫があり、モノをしまふ場所は豊富だ。「きれいにみせるために収納にこだわりました」と、設計にかか

った宮下記子さん（44）と加藤圭さん（33）。子どもが騒いでも、周囲の目を気にしなくてすむ自宅で友人とくつろぎたい。散らかったモノをすぐに片付けたい——。こうしたママの思いを反映。重い洗濯物を1階から運ばなくてすむよう、2階に浴室や洗濯室、クローゼットをまとめ

た。NPO法人、子育てパレット（同）と連携。賃貸マンションや分譲戸建てなど様々な家に住む母親9人が家づくりに参加した。価格は4080万円、4680万円と同じ分譲地内の他の住宅と変わらない。「原価は少し上がったが、営業努力で売れる価格に抑えた」（戒能隆洋事業部長）。今後、母親目線の家の販売を他の地域でも広げる。

取り入れた「ウィズママの家」を販売している。家事をするときの動きやすさを重視し、台所や脱衣所を広めにしたり、子どもがけがをしないように柱の角を丸めたりしたのが特徴。遠藤一平社長は「家事・子育てのしやすさをアピールした住宅に人気が集まりやすい」と話す。

相鉄不動産は、教育評論家の尾木直樹氏が認定した子育ての視点を採り入れたマンションを横浜市内で発売した。JR横浜線の小机駅から徒歩10分、分の「グレイシア横浜小机」（総戸数43戸）で、リビングダイニングで子どもと並んで勉強ができるスペースを用意。下部が空洞になった収納で、子どもの目線で簡単に収納できるクローゼットも導入した。

小さい家でも工夫満載

子育て基準で住宅診断も

住宅メーカーが母親目線に着目する背景のひとつに、子育て層を巡る経済環境の変化がある。大和ハウス工業によると、「今の子育て世代は

年収が伸び悩み、買える家が小さくなっている」。延べ床面積が小さくても子育てしやすい商品を開発し、幅広いニーズに応える必要がある。同社は今年、ベネッセコーポレーションと組み、母親に力点を置いた住宅商品「ハッピーハグIII」を発売。キッチンから家族の様子を見守りやすい開放的な空間を設けた。

供給過剰が懸念される賃貸住宅市場も同様だ。旭化成ホームズが2012年に始めた住宅「母力（ぼりき）」は、母親が交

ミキハウス子育て総研の「子育てにやさしい住まいと環境」の主な認定基準

- ・トイレは子どもとママが一緒に入れる広さ
- ・玄関近くにベビーカーを置ける
- ・床、壁は汚れが落としやすい素材
- ・雨の日に洗濯物が干せる設備やスペースがある
- ・コンセントの位置が高め

子育てしやすい住宅を認定するサービスもある。ミキハウス子育て総研（大阪市）は、戸建て住宅について「ママがストレスをためない」などの観点から90項目の評価基準を設定。60以上を満たせば「子育てにやさしい住まいと環境」と認定する。営業に活用したいハウスメーカーの需要があるという。

半年前と比べた地元の景況 後押ししている。感を示すDI（改善した企業の割合から悪化割合を引いた値）は全国ベースでプラス51.3と06年2月、同8月に次ぐ水準だった。は、これまでの調査の中で

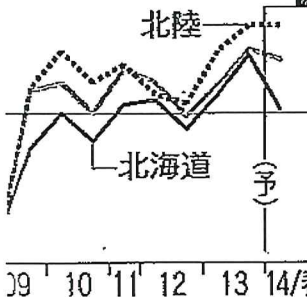
幕張新都心「ゴミ空気輸送」

千葉市、運営引き継ぎ

16年度にも

日本経済新聞社がまとめた「地域経済500調査」では地方の景況感が改善したり、個人消費が活発になったりしていることがわ

06年に続く高さは



高い水準

16年度にも

千葉興業銀行

ロッテ応援向け
千葉興銀が定期

地域情報ヘッドライン

日経電子版紙面ビューアーから